

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

新春を迎え、皆様におかれましては益々ご健勝のことと心よりお慶び申し上げます。

平素のご厚情に深謝し、本年も読者の皆様にお喜びいただけるようなモダンメディアづくりに努めてまいりたいと存じます。

弊社は、ヘルスケア(「臨床検査事業」、「食品・環境検査事業」)を通じて、人々の健康を守ることを経営理念とし、より高品質の製品および情報を提供することにより、人々の健康に貢献すべく、事業活動を推進しております。特に、健診(検診)分野、感染症分野の製品開発、販売に注力し、人々の健康と医療に貢献したいと考えております。

近年、患者の診察時に、迅速かつ精確な診断(Near the patient)が強く要望されています。弊社ではこのようなニーズに対応するためオリジナルの遺伝子増幅技術(LAMP法)を利用した小型全自動遺伝子検査装置および多項目検査チップの開発を進めております。早期の実用化に向け取り組んでまいります。

さらに、イムノクロマト法を測定原理とした感染症項目の迅速検査製品(イムノキャッチ[®]シリーズ)の開発を進めております。既製品の「イムノキャッチ[®]ノロ」「イムノキャッチ[®]レジオネラ」「イムノキャッチ[®]-RSV」に加えて、「イムノキャッチ[®]-肺炎球菌」をラインナップに加えしました。今後とも開発・商品化を進め、感染症の迅速診断に貢献してまいります。

また、健診でも広く行われている尿定性検査の新しい全自動尿分析装置として、「US-3500」を発売いたしました。コンパクトなサイズに、最新型のカラーCMOSセンサーを搭載し、より高精度な測定を実現し、検査室の省力化・効率化にも応えてまいります。

さて、毎年1月号に“新春放談”を掲載しておりますが、今回は、「チーム医療における臨床検査技師の役割」をテーマとしております。平成27年4月より、診療の補助として、「採血」に加えて一部の検体採取が臨床検査技師の業務範囲として加えられました。医療スタッフとしての臨床検査技師の役割、今後の課題、将来の可能性などについて幅広くご討論いただいておりますので、ご一読いただければ幸甚です。

皆様方にとって本年がよりよい年となりますよう心よりお祈り申し上げます。本年も変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成28年元旦



栄研化学株式会社

代表執行役社長

和田 守 史